

事業名	部局	定款事業	チャットポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
<b>(1) 理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する事業</b>											
2014国際福祉機器展	渉外部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	共催事業	平成26年10月1日～3日	東京ビッグサイト	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	計127,651名 40名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、2014国際福祉機器展出展した。医療福祉に関係する不特定多数が参集する展示会で、展示、相談会、講座などを行う。今年の第41回展示会には、出展者約500が出展し、来場者は127651名にも及んだ。連日H.C.R.セミナーが開催されたほか、今年度も出展社セミナーの1時間枠も申請が通り、多くの来場者に足を運んでいただいた。出展ブース内においても、3つのテーマに沿った福祉機器の使用方法についてプレゼンテーションを行い、多くの参加者でにぎわった。
診療報酬、介護報酬に関する相談、助言	医療報酬部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	随時	杏林大学医学部 付属病院 他	理学療法士 うち都士会員	多数 多数	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、診療報酬に関する情報をホームページに掲載し、東京都民や本会会員に向けた情報を発信した。また、診療報酬、介護報酬に関連する質問の相談に医療報酬部員が中心に応じ、東京都民が適切な理学療法またはリハビリテーションが受けられるようにした。
平成26年度 島しょブロック視察事業	業務推進部	1	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成26年10月9日	大島 (大島医 療センター)	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	10名 5名 5名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都理学療法士協会の島しょブロックに属し、理学療法士が勤務する施設および地域の環境を視察することで現状を把握し、区中央部・区南部・島しょブロックとして、どのような活動支援ができるか調査することを目的とした。視察地は、平成25年10月16日、台風26号の直撃による大規模な土砂災害が発生した伊豆大島とした。大島の視察は平成22年9月に訪問しているが、それから4年、島での状況の変化（特に医療・介護）と大災害からの復興の様子を視察するのが大島視察の目的であった。訪問時の一年前に起きた大規模な土砂災害の爪痕は島のあちこちに残っており、復興のためのダンプカーが山道を走り、工事車両が山肌や道路の補修を行っていた。あちこちに献花台が見られ、我々の記憶からは薄くなっている災害は、島では老健施設の建設が見送られたりと住民への影響はいまでも多大な被害をのこしていた。島での医療状況は大きな変化はなく、リハビリを提供する施設は主に医療センターのみ、急性発症した患者はヘリ移送され本土に搬送されるが、大島住民は帰島意識が強く、自立度が低くても帰ってきて医療センターでフォローすることが多い。また、中には救急時よりセンターで入院加療するケースもあるが、OT・STがない為、本土の回復期病院に転院させたいケースもあるが、SWもないため転院先を探すのに困っている事、また、装具の作成に困っていることは他の島の状況と同じであった。当ブロックとしては、このような島の状況を拾って、協力体制を強化していかなければならない思いを強く抱いた。今後のブロック活動、協会活動に活かしていきたい。
平成26年度 北多摩ブロック新人セミナー	業務推進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月12日	専門学校社会医 学技術学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	12名 1名 68名 66名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、各リハビリテーション分野でそれぞれ活躍されている理学療法士の業務の現状や取組について講演をいただいた。また、意見交換会では、参加者同士の活発な意見交換が行われ、理学療法が都民の医療・保健・福祉に貢献できることが啓蒙された。講師（理学療法士）とテーマは以下の通りである。  ・講義「新人セラピストのためのバイオメカニクス」 講師：鹿嶋 藍 氏（社会医学技術学院） 司会：矢島 亜弓 氏（関東リハビリテーション専門学校） ・シンポジウム「連携を深めるための相互理解」 施設からの業務内容等の紹介（急性期～訪問まで） 司会：柳堀 明久 氏（小金井太陽病院） 急性期施設：中野 壮一郎 氏（府中恵仁会病院） 回復期施設：島崎 重和 氏（小平中央リハビリテーション病院） 介護老人保健施設：岡田 昇 氏（介護老人保健施設 けやきの郷） 訪問リハビリテーション：遊佐 真弓 氏（新田クリニック）

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
北多摩ブロック研修会 「他職種連携セミナー」	業務推進部	1	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年10月18日	関東リハビリ テーション専門 学校	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	4名 12名 19名 19名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、講演およびグループワークを行った。講演のテーマと講師は以下の通りである。  ・講演①：在宅リハに必要な認知症・パーキンソン病の基礎知識～軽度認知症を伴う歩行不安定な人についての対処法～ 講師：佐藤 猛氏（菜の花クリニック 神経内科医 精神・神経科学振興財団理事） ・講演②在宅パーキンソン病患者への支援について～立川市パーキンソン病友の会・準備会での取り組み～ 講師：水村 安代氏（立川市北部中さいわい地域包括支援センター 看護師）  講演後には理学療法士だけではなく、作業療法士やケアマネージャー等多職種でグループワーク（在宅パーキンソン病患者の多職種連携について）を行い活発に意見交換を行った。
北多摩ブロック研修会「他施設見学会」	業務推進部	1	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年12月	武蔵野赤十字病院 国立精神・神経 医療センター リハビリ企画 緑成会病院・姓 育園 小金井太陽病院 東大和病院	理学療法士 うち都士会員	6名 6名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、他施設の見学会を行った。見学会は北多摩ブロック内の6施設（武蔵野赤十字病院、国立精神・神経医療センター、リハビリ企画、緑成会病院・整育園、小金井太陽病院、東大和病院）を対象として行った。経験の浅いセラピスト～10年目以上のセラピストまで幅広く参加した。
市区町村介護認定審査委員及び障害認定審査員の推薦事業	保健福祉局	1	35 相談・ 助言	委託 事業	主催 事業	随時				都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、市区町村介護認定審査員及び障害認定審査員の派遣依頼が来た市区町村へ適任の理学療法士を選出し、会長の承認及び適任者の承諾を得た上で先方へ推薦状を出した。理学療法士の専門性を活かし、医療・保健・福祉関係の専門家で構成する介護認定審査員及び障害認定審査員の一人として、今後も医療・保健・福祉の増進に寄与できるよう推薦事業を行った。
市区町村及び公共性のある団体からの保健・福祉関連事業における相談事業	保健福祉局	1	35 相談・ 助言	委託 事業	主催 事業	平成26年4月19日、6月21日、7月12日、8月2日、9月6日、10月4日、11月8日、12月13日 平成27年1月10日、2月21日、3月7日	社会医学技術学院学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	160名 24名 42名 42名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、都内在住の障害者及びその家族の方々を対象に、理学療法に関する相談、助言事業を実施。具体的には、自分で行える運動方法の指導や障害部位の改善方法の提案、介護者の健康相談を実施。また、体操やフラワーアレンジメント、風船パレードなどのレクリエーション、情報交換を行う場を提供し、活動と参加を促す援助をした。同時に他団体の企画する公益事業に対して、理学療法士の専門的な立場から相談、助言を実施した。
「介護の日」イベント協力	保健福祉局	1	34 体験活 動等	自主 事業	共催 事業	平成26年11月11日	西東京市アスタ	一般都民 理学療法士 うち都士会員	20名 7名 7名	都士会HP 都士会ニュース 西東京市の市報 パンフレット	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、「介護の日」前後に開催される西東京市主催の市民向けイベント内で高齢者疑似体験及び車椅子乗車体験を経験してもらい、その介助方法等も含めて実施した。高齢者疑似体験では、一般都民に高齢者疑似装具を装着してもらい、実際に起居動作や杖歩行、階段昇降を実施した。理学療法士の専門的な立場から、安全な動作方法や介助方法、予防するための助言を行った。車椅子乗車体験では、一般都民に車椅子操作をスロープや段差昇降体験をしてもらい、また介助者体験として介助方法について指導した。本事業により、一般都民の医療・保健・福祉の知識、介護技術の向上、予防に対する意識を高めることができ、一般都民の医療・保健・福祉の増進に寄与できたと考える。
局内調整会議	保健福祉局	1	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成27年1月13日	東京都理学療法士協会事務所	理学療法士 うち都士会員	8名 8名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、保健福祉局内にある小児福祉部、成人福祉部、老人福祉部、介護保険部、健康増進部の5部と協同して、都民等に向けてより良い事業を行っていくよう調整を行った。各部から平成26年度の活動報告をもらい、医療・保健・福祉の現状と課題について共有することができた。また分掌規定に基づき、改めて各部の活動方針や連携等について協議する場を設けることができた。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
訪問リハビリテーション実務者セミナー	保健福祉局	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月22日～23日	首都大学東京荒川キャンパス	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	17名 17名 13名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、在宅で療養する方々の自立を支援し在宅生活の活動性を高め、より自分らしい生活が住み慣れた自宅ですらいつでもできるような援助する訪問リハビリテーションに従事するPT・OT・STの人材育成のため研修会を実施した。病院での入院期間が短縮されている現状を鑑み、医療依存度の高い在宅療養者にも対応できるよう、プログラムを企画した。実際の症例を想定したリスク管理や嚥下機能障害に対する具体的指導の講義を入れた。難病療養者ご本人にシンポジウムに参加していただき、病気に対する思いやリハビリテーションとその従事者に対する希望などをお聞きした。また、福祉用具の新しい知識を取り入れるため、ランチョンセミナーとして移乗用機器の展示・試用も行った。 今回で5回目になるが、PT士会・OT士会・ST士会三団体で第1回から取り組んできて、リハ専門職種間の連携も進んでいる。
リハビリ相談会	成人福祉部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成26年6月7日、8月2日 平成27年2月7日	福生市福祉センター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	14名 15名 15名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開催日が記載されているものを配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、リハビリ相談会を開催した。 第一回リハビリ相談会 6月7日(土)相談人数6名 内訳は男性2名 女性4名 相談内容はOA、切断、認知症、CVA、脳脊髄炎後遺症と多岐にわたった。 相談員を増やしたので一人30分から一時間とゆっくり相談を受けることができた。 予防体操等の指導も行えた。 第二回リハビリ相談会 8月2日(土)相談人数5名 内訳は男性2名 女性3名 相談内容は脳梗塞後遺症、膝OA、腰椎圧迫骨折、切断等で外来リハの件や日常生活での注意点などの質問があった。 第三回リハビリ相談会 2月7日：相談人数3名、内訳は男性2名、女性1名。 相談内容はRA、左片麻痺、左変股症等、 日常生活の注意点、リハビリ方法、介護保険の申請等 各人30～50分の時間を掛けてゆっくりと相談を行うことができた。
福祉まつりリハビリ相談コーナー	成人福祉部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成26年10月5日	福生市福祉センター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	11名 6名 6名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開催日が記載されているものを配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、福生市福祉センターで開催された福祉まつりへの参加事業でリハビリ相談会を開催した。 当日は朝8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。 9時30分より相談業務を開始し15時に終了、現状復帰後解散した。 相談件数は男性4名、女性7名の計11名11件であった。 年齢も50歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も自分自身のことから、親の介護のことまで多岐にわたった。 また、相談員が6名いたこともあり、時間もゆっくりと取ることができて、相談者には満足して帰っていただいたように思えた。
健康まつりリハビリ相談・介護予防体験コーナー	成人福祉部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成26年11月2日	福生市野球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	100名 19名 19名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開催日が記載されているものを配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、福生市野球場にて健康まつりが開催され、そのなかに東京都理学療法士協会協力事業として介護予防体験、リハビリ相談コーナーを設けた。 8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。9時から介護予防体験とリハビリ相談を行った。 介護予防体験は、東京都が作成したおたっしや21を元に、開眼片足立ち、嚥下、TUG、5m歩行速度、握力測定を行い介護度を説明した。さらに詳しい説明が必要な方には、相談コーナーへ誘導し、リハビリ相談を行った。 参加者は100名、そのうちリハビリ相談へこられたのは4名であった。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
介護保険・在宅領域における卒後教育セミナー	介護保険部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年12月26日	中野サンプラザ 研修室10	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 2名 30名 27名	都士会HP 都士会ニュース 東京都作業療法士 協会HP 東京都言語聴覚士 会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション関連職種をはじめ、理学療法士養成校の学生や一般都民の方に参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、経験豊富な三名の講師による講演とグループワークで構成される研修を受けることで、適切で効果的なサービス提供、都民の医療・保健・福祉の増進への寄与を図った。
介護保険の基礎知識	介護保険部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年1月27日	中野サンプラザ 研修室11	一般都民 理学療法士 うち都士会員	7名 7名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション関連職種をはじめ、理学療法士養成校の学生や一般都民の方に参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、経験豊富な二名の講師による講演とグループワークで構成される研修を受けることで、適切で効果的なサービス提供、都民の医療・保健・福祉の増進への寄与を図った。
講演会「障がい者スポーツの理解を深める」	健康増進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年5月10日	社会医学技術学院	一般都民 理学療法士 うち都士会員	42名 22名 22名	西東京市報 西東京市HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として講演会を開催した。 講演1「障がい者スポーツに関わるための基礎 理学療法士に期待すること」 講演2「理学療法士の障がい者スポーツへの関わり スポーツ祭2013のサポート報告を通じて」 2-1「陸上競技をサポートして」多賀留美理学療法士（東京都理学療法士協会） 2-2「バレーボール競技をサポートして」小野寺久美理学療法士（東京都理学療法士協会） 質疑応答
介護予防キャンペーン（理学療法士による介護予防体力測定会）	健康増進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月13日	緑風荘病院	一般都民	12名	西東京市報 西東京市HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として介護予防キャンペーンを開催した。 1、講義：介護予防について 2、実技：1に関して 3、体力測定会：血圧・握力・TUG・開眼片脚立位・2ステップテスト・立ち上がりテスト 4、相談会
リハビリ相談会、体操教室、体力測定（於：西東京市民まつり）	健康増進部	1	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成26年11月8日	西東京市いこいの森公園	一般都民	183名	西東京市報 西東京市HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として下記内容を開催した。 1、リハビリ相談会 疾病、外傷のリハビリに関する相談、または介護方法や装具に関する相談等について理学療法士が対応。 2、リハビリ体操教室 セラバンドを使用した簡単な体操を実技指導。 3、体力測定会 家庭用ゲーム機Wiiを使用してのバランス測定。
国際福祉機器展2014	広報局	1	39 展示会（○○ショー）	自主事業	共催事業	平成26年10月1日 ～10月3日	東京ビックサイト	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	計1500名以上	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、国際福祉機器展に「理学療法の紹介ブース」を出展した。出展ブースでは、理学療法の啓蒙活動として、理学療法の紹介チラシ・リーフレットを作成し来場者に配布した。また、来場者を対象にブース内にて健康・福祉・介護予防の最新情報をレクチャーした。
国際福祉機器展 2014	外宣部	1	39 展示会（○○ショー）	自主事業	共催事業	平成26年10月1日 ～10月3日	東京ビックサイト	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	計1500名以上	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、国際福祉機器展に「理学療法の紹介ブース」を出展した。出展ブースでは、理学療法の啓蒙活動として、理学療法の紹介チラシ・リーフレットを作成し来場者に配布した。また、来場者を対象にブース内にて健康・福祉・介護予防の最新情報をレクチャーした。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
都内各地域イベントサポート	外宣部	1	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成26年4月1日～平成 27年3月31日	社会医学技術学 院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、高 等学校・資格相談セミナーなど、リハビリテーション・理学療法士 の説明会・相談会に対し本会会員である理学療法士を派遣した。 さらに、各地域で行われるイベントに参加し、様々な相談に応じ た。  具体的な相談内容は、 ①高等学校低学年の職業選択に至るまでの情報提供 ②具体的な進路選択をする際の養成校選択や養成校カリキュラム等 の情報提供 ③リハビリテーション、理学療法士の職業や仕事内容、資格取得ま での流れについて ④身体機能障害に対する相談・助言 ⑤健康・運動指導など であった。
表彰対象者リスト資料作成	表彰審査 委員会	1	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業						理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、理 学療法士がリハビリテーション専門職として過疎地医療・小児医 療・地域医療・社会福祉などに重要な役割を担っていることを広く 都民に啓発した。国・都または各種団体が主催する表彰事業に関し て協力して、表彰事業に応募するための理学療法士の個人または団 体における業績を調査して、資料を整理した。
表彰事業	表彰審査 委員会	1	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業						理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、理 学療法士がリハビリテーション専門職として過疎地医療・小児医 療・地域医療・社会福祉などに重要な役割を担っていることを広く 都民に啓発した。国・都または各種団体が主催する表彰事業に関し て協力して、表彰事業に応募した。
都民の声委員会	都民の声 委員会	1	35 相談・ 助言	自主 事業		平成26年8月5日、11月 11日 平成27年2月3日、3月3 日	東京衛生学園専 門学校	理学療法士 うち都士会員	10名 10名		理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として下記 の事業を実施した。 (1) 都民からの理学療法に関する問い合わせ等に関する対応 問い合わせ内容(まとめ) ・特定の疾患・症状に対して、どのような理学療法があるのかに ついての問い合わせ ・病院・施設で受けた理学療法内容についての不満 ・退院後に受けられる理学療法についての問い合わせ (2) (1)の内容についての共有 ・会議にて各事例報告を通して委員会内で共有 ・対応方法についてのポイントおよび注意事項についての共有
スポーツ障害の理学療法に関わる人 材の育成事業	スポ-ツの 理学療法 委員会	1	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業						理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、ス ポーツによる外傷等を理解し、その予防や対応にあたることができ る理学療法士を増やすための講習会を開催した。 このことにより、都民(特に学童期の小・中学生)の健康に寄与す ることができた。 26年度は予定していた講師の都合で開催せず、次年度継続事業とし た。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
都民公開講座	公益法人 推進課委 員会	1	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年2月20日	パルテノン多摩 小ホール	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	11名 20名 84名 80名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP パルテノン多摩HP 掲載 町田市ケアマネ連 絡会にてチラシ配 布 稲城市介護保険事 業者連絡会でチラ シ配布 多摩市ケアマネ部 会にてチラシの配 布 日野市介護保険事 業所にチラシを ファックス送信 南多摩リハビリ支 援センターからの 配布物に同封(約 300箇所) 南多摩地区の会員 の施設へチラシ及 びA3ポスターの掲 載依頼送付	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、多 摩市のパルテノン多摩小ホールにて、「介護予防 ー理学療法士が すすめる運動と地域づくりー」をテーマに、講師を小島 基永氏 (東京医療学院大学 保健医療学部リハビリテーション学科 理学 療法学専攻 専攻長教授)、座長を木野田典保氏(南多摩地域リハ ビリテーション支援センター 永生会 地域リハ支援事業推進室 室 長)で都民公開講座を実施した。多摩市、町田市、稲城市、日野 市、八王子市、東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支 援センターから後援を頂き、広く都民に広報した。当日は、理学療 法士だけでなく、多くの都民に参加いただいた。
公開講座	公開講座 準備委員 会	1	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年6月15日	臨床福祉専門学 校	一般都民 理学療法士 うち都士会員	3名 203名 203名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、下 記の内容での公開講座を実施した。 東京医科歯科大学医学部付属病院アスレチックリハビリテーション 部門の相澤純也先生をお招きし、2020年、東京にてオリンピックが 開催されることとなり、スポーツ復帰に向けた動作訓練や、再受傷 を防ぐためのポイントなど、スポーツに携わる理学療法士向けに 「下肢スポーツ傷害予防のためのアスレチックリハビリテーション - 理学療法士ができること -」というテーマでご講演頂いた。 また、緑風荘病院リハビリテーション科の青木慶司先生をお招き し、2025年問題を見据えて「地域包括ケアシステムの構築に向けて - 理学療法士に求められるもの -」というテーマでご講演頂いた。 参加者は200名を超え、各講演はともに盛況に終えることができ た。
一般公開講座	公開講座 準備委員 会	1	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年1月11日	池袋ステーショ ンコンファレン ス	一般都民 理学療法士 うち都士会員	125名 25名 25名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、下 記の内容での公開講座を実施。 慶應義塾大学の山本淳一先生をお招きし、応用行動分析による幼 児・自動の発達支援方法というテーマで、一般都民、及び教育関係 者に向けてご講演していただいた。具体例やワークショップを交え ながら、日々の教育や、診療の場面において、対象となる子供との 関わり方や、教育についての考え方など、応用行動分析の観点より わかりやすくご説明していただいた。参加者は125名を超え、盛況 に終えることができた。
生活期における3団体共通の評価表作 成と広報	生活期共 通評価表 作成委員 会	1	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業			一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	多数	都士会HP 都士会ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、生 活期の「効果が見える評価表」を目指し、機能面だけではない、 『生活の質』の視点を取り入れた評価表を作成した。校正・修正を 重ね、東京都版第1作(訪問リハビリテーション編)として、士会 ホームページに掲載した。その後、HP掲載だけでは十分周知されな いことより、ニュースに同封し、各会員に手に取ってもらうよう広 報用として印刷した。

(2) 理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業

## (公社)東京都理学療法士協会 平成26年度 事業報告

〈定款別〉

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
研究推進相談会	研究推進部	2	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成26年7月6日	首都大学東京荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	8名 8名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するための助成、貸し出し用研究機器の購入と管理 【開催内容】第33回東京都理学療法学会大会（於：首都大学東京荒川キャンパス、7月6日開催）にて研究推進相談ブースを設け、理学療法研究に関する相談に対して助言を行った。臨床経験2年目から10年目以上の理学療法士8名が相談ブースに訪れた。主に具体的な研究計画や今後の展望についての相談、統計処理についての相談、研究助成事業の相談があった。
研究機器貸し出し助成	研究推進部	2	43 助成（応募型）	自主事業	主催事業	平成26年6月30日	日本大学医学部 附属板橋病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 4名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するための助成、貸し出し用研究機器の購入と管理 【開催内容】研究助成公募によって申請のあった研究計画について、選考会議で申請内容を匿名化したうえで審議し、理事会にて助成採択を決定し、助成交付を行った。4件の申請に対し3件の助成交付を行った。
理学療法研究法講習会	研究推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月15日	日本大学文理学部	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 41名 36名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するための講習会。 【講習会内容】理学療法に関する研究を実施するための、基礎的な知識についての講習を行った。 1) 急性期脳血管障害の理学療法とその研究手法（講師：埼玉医科大学国際医療センター・藤野雄次先生） 2) 回復期脳血管障害の理学療法とその研究手法（講師：埼玉みさと総合リハビリテーション病院・万治淳史先生）
第3回 区西南部・区西部ブロック学術集会	業務推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月15日	中野サンプラザ	理学療法士 うち都士会員	70名 70名	都士会HP 都士会ニュース FAX通信	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、ブロック学術集会を開催する。当ブロックは若年会員が多いことが特徴である。経験のまだ少ない理学療法士においては、症例研究発表が非常に重要となり、発表の機会が少ないことが問題である。当研究会は症例報告を行いそれについて活発なディスカッションを行うことで研鑽を図ることが可能となり、専門職として高度の知識技術が必要な理学療法士が都民に貢献するには非常に重要な機会である。ブロック学会は200名近い参加があり、内容も更に充実してきている。新人理学療法士の最も多いブロックとして新人への発表の場を確保し、研鑽し諸先輩からの意見を聞ける貴重な場である。今年度も同様に開催する事が大切である。宮野先生の過去のリハビリテーションの歴史や山口参議員よりこれからの理学療法士が都民、国民に貢献するために必要なお考えを学ぶことが出来た。
第4回 区西北部ブロック学術集会	業務推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年2月1日	帝京平成大学 池袋キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	17名 5名 115名 113名	都士会HP 都士会ニュース ポスター作成	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、「今いるフィールドを超えて～それぞれのNext Stageへ～」をテーマにブロック学会を開催した。理学療法士の新しい可能性を模索する機会とし、特別講演ではスポーツ領域でご活躍中の松田直樹先生（国立スポーツ科学センター）と板倉尚子先生（日本女子体育大学）のお二方をお招きして、『2020年 広がる理学療法士の可能性』を開催した。また、30題にもものぼる一般演題発表も行われた。
第7回 区東部・東北部ブロック学術大会	業務推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年2月22日	臨床福祉専門学校	一般都民 理学療法士 うち都士会員	1名 88名 86名	都士会HP 都士会ニュース 世話人による広報活動	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、学術集会を開催した。特別講演、一般演題を実施した。一般演題は、演題数9題で、今回は症例発表という形をとり、中枢神経疾患と内部障害と歩行とセッションを分けて行った。特別講演Ⅰでは、「地域包括支援の現状について」というテーマで、地域包括システムの現状を東京都理学療法士協会の活動と共に講演をしていただきました。特別講演Ⅱでは、「優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード」をテーマに、知覚・感情・言語による包括的なケア技術ユマニチュードの基本的な概念と具体的な技術の紹介をして頂き、ケアとリハビリテーションの融合を通じて高齢化社会への対策について講演をしていただいた。演題内容も興味深いものが多く、参加者にとっても今後の臨床・学術の場で役立つ学術集会を開催できた。

事業名	都局	定款事業	チャックポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
第5回 西多摩南多摩ブロック学術集会	業務推進部	2	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月2日	多摩リハビリテーション学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	4名 5名 87名 84名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP 南多摩リハビリ支援センターからの配布物に同封(約300か所) 南多摩地区の会員の施設へチラシ及びA3ポスター掲載依頼送付	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、理学療法士に限らずリハビリテーションに関わる職種よりリハビリテーションに関する演題募集した。演題発表や特別講演などの学術集会を多摩リハビリテーション学院で実施した。参加者が96名と理学療法士だけでなく他職種や学生の方々にも参加いただいた。特別講演として「生活期のリハビリテーション；自立支援と地域連携」をテーマに榎本 雪絵先生(杏林大学 保健学部 理学療法学科)に講演頂いた。また、一般演題発表は29演題の発表があり、活発に討議された。
第5回 北多摩ブロック学術集会	業務推進部	2	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年2月15日	国立精神・神経医療研究センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	10名 10名 133名 126名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、特別講演を含む学術集会を開催した。特別講演は、「地域に根差した理学療法士になる為に」をテーマに日本理学療法士協会会長の半田一登氏に講演をいただいた。一般演題数は43題であり、活発に討議された。
東京都理学療法士協会ホームページ維持管理	外宣部	2	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年4月1日～平成27年3月31日	社会医学技術学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	都士会HP 都士会ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、本会ホームページ閲覧者が情報を得やすいように維持管理を行った。ホームページの内容は、公益事業の内容を主とした。
第33回東京都理学療法学術大会	第33回東京都理学療法学術大会	2	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月6日	首都大学東京 荒川キャンパス	一般都民 理学療法士 うち都士会員	39名 403名 392名	都士会HP 都士会ニュース ポスター掲示(郵便局・都電停留所等)	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、昨年度から継続して準備を行い学術大会を開催した。理学療法士の学術ならびに臨床的技術の向上および理学療法士の人材育成を図るため、理学療法に関する基礎研究・臨床研究の成果についての発表を企画した。加えて、韓国ソウル市理学療法士協会の会員の講演・演題発表を行い、ソウル市と東京都における理学療法士の役割について考える企画を実施した。また、都民をはじめ広く参加者を募り、都民公開講座を開催し、医療・保健・福祉に関する知識を提供し、都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するとともに理学療法の普及を図った。
第34回東京都理学療法学術大会	第34回東京都理学療法学術大会	2	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業					都士会HP 都士会ニュース	理学療法士における学術及び科学技術の振興に資するため、理学療法に関する基礎研究・臨床研究の成果についての発表を企画した。加えて、2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されることが決定した東京において、都民へ医療・保健・福祉に関する知識を提供することを目的に、「理学療法とウェルネスーオリンピック・パラリンピックから都民の健康を考える」と題した。韓国ソウル市理学療法士協会の会員の講演・演題発表では、ソウル市におけるスポーツに特化した理学療法の展開についての講演および発表を依頼した。また、都民をはじめ広く参加者を募り、都民公開講座を開催し、都民の医療・保健・福祉の増進に寄与する内容を企画し、講演を依頼した。
(3) 地域社会の健全な発展を目的とする事業											
北多摩ブロック研修会「他施設見学会」	業務推進部	3	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年12月	武蔵野赤十字病院 国立精神・神経医療センター リハビリ企画 緑成会病院・姓育園 小金井太陽病院 東大和病院	理学療法士 うち都士会員	6名 6名	都士会HP	地域社会の健全な発展を目的として、他施設の見学会を行った。見学会は北多摩ブロック内の6施設(武蔵野赤十字病院、国立精神・神経医療センター、リハビリ企画、緑成会病院・整育園、小金井太陽病院、東大和病院)を対象として行った。経験の浅いセラピスト～10年目以上のセラピストまで幅広く参加した。



## (公社)東京都理学療法士協会 平成26年度 事業報告

〈定款別〉

事業名	都局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
地域包括ケアシステム推進のための活動	保健福祉局	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月13日、8月14日、9月27日、10月5日、11月16日 平成27年2月5日、2月8日、2月22日	デンマークイン 新宿、グリーン ボイス、東京医 科歯科大学病 院、社会医学技 術学院、日本リ ハビリテーショ ン専門学校、河 北医療財団 講 堂	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	12名 7名 518名 469名	都士会HP 都士会ニュース	地域社会の健全な発展を目的として、地域包括ケアシステムの中で理学療法士の役割や専門性を普及させる活動を実施した。日本理学療法士協会主催の全国一斉介護予防キャンペーンでは、一般都民を対象とし「介護予防について」の講演や、体力測定、個別相談等を実施し、地域社会の健全な発展に寄与した。東京都や市区町村との連携を深めていくため、都庁や役所へ訪問し情報交換をする場を設け、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割や専門性を普及させる活動を行った。また、地域包括ケアシステムの構築に向け東京都医師会や東京都OT士会、東京都ST士会との連携をとり、今後も連携を深めていく。
介護のコト体験フェアでのリハビリ相談	老人福祉部	3	38 キャンペーン(○月間)	委託事業	共催事業	平成26年11月9日	東京国際フォーラム 展示ホール2	一般都民 理学療法士 うち都士会員	300名 多数 多数	都士会HP 東京都福祉人材センターHP 一般新聞 ちらし ポスター配布	地域社会の健全な発展を目的として、介護や福祉の仕事の魅力を知っていただくとともに、身近な介護に役立つ情報や知識を現場のプロが提供することで、誰もが楽しみながら「介護を体験」することを目的に開催されるイベントであり、その協力として参加しました。相談内容では、自身の腰痛・肩痛等の相談、ご家族のリハビリ相談、PTになるためには・・・等の内容が多くあげられていました。理学療法士による体操実演では終了時間間際の開催でしたが、多くの方に足を運んで頂き、一緒に体操を行うことができました。今回より地域包括ケア推進リーダー・介護予防リーダーの指定事業として、公募にて会員4名のお手伝いの中、行いました。本事業により、理学療法の専門的な知識・技能を高齢社会を支える都民の方に情報発信できたと考えます。相談件数：69件
理学療法フェスタ2014	広報局	3	38 キャンペーン(○月間)	自主事業	主催事業	平成26年8月10日	東京都庁45階南展望室	一般都民	1000名程度	都士会HP 都士会ニュース チラシを作成し当日配布	地域社会の健全な発展を目的として、都庁展望室を使用し都民に対して理学療法の啓蒙を兼ねた相談事業を実施した。会場内では、理学療法士の活動紹介を記したパネルを展示するとともにチラシを作成し来場者に配布した。また、個別相談コーナーでは、理学療法士の専門的な見解を伺いたい、理学療法を受けるにはどのような手続きが必要か、高齢者の介護をしているが、移乗動作介助に困っているため専門的な技術を学びたいなど多種多様な相談が寄せられた。相談には、本会会員である理学療法士が個別に対応した。
理学療法フェスタ 2014	外宣部	3	38 キャンペーン(○月間)	自主事業	主催事業	平成26年8月10日	東京都庁45階南展望室	一般都民	1000名程度	都士会HP 都士会ニュース チラシを作成し当日配布	地域社会の健全な発展を目的として、都庁展望室を使用し都民に対して理学療法の啓蒙を兼ねた相談事業を実施した。会場内では、理学療法士の活動紹介を記したパネルを展示するとともにチラシを作成し来場者に配布した。また、個別相談コーナーでは、理学療法士の専門的な見解を伺いたい、理学療法を受けるにはどのような手続きが必要か、高齢者の介護をしているが、移乗動作介助に困っているため専門的な技術を学びたいなど多種多様な相談が寄せられた。相談には、本会会員である理学療法士が個別に対応した。
理学療法士の「倫理」問題に対する相談助言内容	倫理委員会	3	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年2月1日	帝京平成大学池袋キャンパス	理学療法士 うち都士会員	5名 5名	都士会HP 都士会ニュース	地域社会の健全な発展を目的として、本会が定める「倫理規定」に沿った活動を通じて、社会の信頼と期待を負託された公益社団法人として発展するため、理学療法士の倫理に関する問題を広く都民から受ける窓口を設置した。具体的には、本会が主催する学会や公開講座などの際に相談窓口を設置し、都民からの相談に応じた。
全国少年・中学軟式野球大会のメディカルサポート支援事業	スポーツの理学療法委員会	3	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成26年8月12日、13日	神宮球場・横浜スタジアム	一般都民 理学療法士 うち都士会員	80名 2名 2名	過去に本委員会のサポート事業に参加した都士会員および、サポート活動調査に協力のあった都士会員にメールにて広報	地域社会の健全な発展を目的として、平成26年8月に東京都で開催される全国軟式野球大会準決勝・決勝におけるメディカルサポートに理学療法士を派遣して、球児の怪我の予防等に関与した。日本理学療法士協会から委託されて、共同で準決勝・決勝に関して都協会がサポートをした。
都民の各種スポーツ活動のメディカルサポート支援事業	スポーツの理学療法委員会	3	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成26年5月25日 平成26年9月23日		一般都民 理学療法士 うち都士会員	計60名 計14名 計14名	過去に本委員会のサポート事業に参加した都士会員および、サポート活動調査に協力のあった都士会員にメールにて広報	地域社会の健全な発展を目的として、平成26年5月・9月に東京都で開催されるアジア国際空手道選手権大会および全関東総合空手道選手権におけるメディカルサポートに理学療法士を派遣し選手のコンディショニングサポートを実施した。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
<b>(4) 高齢者の福祉の向上を目的とする事業</b>											
介護報酬に関する情報収集と情報提供に関する事業	介護報酬部	4	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	随時	都士会HP	一般都民	多数	都士会HP	高齢者の福祉の向上に資するため、一般都民、高齢者を対象とし介護保険サービスの向上を目的にホームページ上にて介護保険サービスの情報を行った。さらに、介護保健サービスに関わる問合せをホームページ上にて随時受け付けを行い高齢者の福祉の向上を目的に相談および助言を随時行った。
市区町村介護認定審査委員及び障害認定審査員の推薦事業	保健福祉局	4	35 相談・ 助言	委託 事業	主催 事業	随時				都士会HP	高齢者の福祉の向上に資するため、市区町村介護認定審査員及び障害認定審査員の派遣依頼が来た市区町村へ適任の理学療法士を選出し、会長の承認及び適任者の承諾を得た上で先方へ推薦状を出した。理学療法士の専門性を活かし、医療・保健・福祉関係の専門家で構成する介護認定審査員及び障害認定審査員の一人として、今後も高齢者の福祉の向上に寄与できるよう推薦事業を行った。
市区町村及び公共性のある団体からの保健・福祉関連事業における相談事業	保健福祉局	4	35 相談・ 助言	委託 事業	主催 事業	平成26年4月19日、6月21日、7月12日、8月2日、9月6日、10月4日、11月8日、12月13日 平成27年1月10日、2月21日、3月7日	社会医学技術学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	160名 24名 42名 42名	都士会HP 都士会ニュース	高齢者の福祉の向上に資するため、都内在住の障害者及びその家族の方々を対象に、理学療法に関する相談、助言事業を実施。具体的には、自分で行える運動方法の指導や障害部位の改善方法の提案、介護者の健康相談を実施。また、体操やフラワーアレンジメント、風船バレーなどのレクリエーション、情報交換を行う場を提供し、活動と参加を促す援助をした。同時に他団体の企画する公益事業に対して、理学療法士の専門的な立場から相談、助言を実施した。
「介護の日」イベント協力	保健福祉局	4	34 体験活 動等	自主 事業	共催 事業	平成26年11月11日	西東京市アスタ	一般都民 理学療法士 うち都士会員	20名 7名 7名	都士会HP 都士会ニュース 西東京市の市報 パンフレット	高齢者の福祉の向上に資するため、「介護の日」前後に開催される西東京市主催の市民向けイベント内で高齢者疑似体験及び車椅子乗車体験を経験してもらい、その介助方法等も含めて実施した。高齢者疑似体験では、一般都民に高齢者疑似装具を装着してもらい、実際に起居動作や杖歩行、階段昇降を実施した。理学療法士の専門的な立場から、安全な動作方法や介助方法、予防するための助言を行った。車椅子乗車体験では、一般都民に車椅子操作をスロープや段差昇降体験をしてもらい、また介助者体験として介助方法について指導した。本事業により、高齢者福祉に重要な医療・保健・福祉の知識、介護技術の向上、予防に対する意識を高めることができ、高齢者福祉の向上に寄与できたと考える。
局内調整会議	保健福祉局	4	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成27年1月13日	東京都理学療法士協会事務所	理学療法士 うち都士会員	8名 8名	都士会HP	高齢者の福祉の向上に資するため、保健福祉局内にある小児福祉部、成人福祉部、老人福祉部、介護保険部、健康増進部の5部と協同して、都民等に向けてより良い事業を行っていくよう調整を行った。各部から平成26年度の活動報告をしてもらい、高齢者福祉の現状と課題について共有することができた。また分掌規定に基づき、改めて各部の活動方針や連携等について協議する場を設けることができた。
リハビリ相談会	成人福祉部	4	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成26年6月7日、8月2日 平成27年2月7日	福生市福祉センター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	14名 15名 15名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開 催日が記載されて いるものを配布	高齢者の福祉の向上に資するため、リハビリ相談会を開催した。 第一回リハビリ相談会 6月7日(土)相談人数6名 内訳は男性2名 女性4名 相談内容はOA、切断、認知症、CVA、脳脊髄炎後遺症と多岐にわたった。 相談員を増やしたので一人30分から一時間とゆっくり相談を受けることができた。 予防体操等の指導も行えた。 第二回リハビリ相談会 8月2日(土)相談人数5名 内訳は男性2名 女性3名 相談内容は脳梗塞後遺症、膝OA、腰椎圧迫骨折、切断等で 外来リハの件や日常生活での注意点などの質問があった。 第三回リハビリ相談会 2月7日：相談人数3名、内訳は男性2名、女性1名。 相談内容はRA、左片麻痺、左変股症等、 日常生活の注意点、リハビリ方法、介護保険の申請等 各人30～50分の時間を掛けてゆっくりと相談を行うことができた。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
福祉まつりリハビリ相談コーナー	成人福祉部	4	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成26年10月5日	福生市福祉セン ター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	11名 6名 6名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開 催日が記載されて いるものを配布	高齢者の福祉の向上を目的として、福生市福祉センターで開催された福祉まつりへの参加事業でリハビリ相談会を開催した。当日は朝8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。9時30分より相談業務を開始し15時に終了、現状復帰後解散した。相談件数は男性4名、女性7名の計11名11件であった。年齢も50歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も自分自身のことから、親の介護のことまで多岐にわたった。また、相談員が6名いたこともあり、時間もゆっくりと取ることができて、相談者には満足して帰っていただいたように思えた。
健康まつりリハビリ相談・介護予防体験コーナー	成人福祉部	4	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成26年11月2日	福生市野球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	100名 19名 19名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開 催日が記載されて いるものを配布	高齢者の福祉の向上を目的として、福生市野球場にて健康まつりが開催され、そのなかに東京都理学療法士協会協力事業として介護予防体験、リハビリ相談コーナーを設けた。8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。9時から介護予防体験とリハビリ相談を行った。介護予防体験は、東京都が作成したおたっしや21を元に、開眼片足立ち、嚙下、TUG、5m歩行速度、握力測定を行い介護度を説明した。さらに詳しい説明が必要な方には、相談コーナーへ誘導し、リハビリ相談を行った。参加者は100名、そのうちリハビリ相談へこられたのは4名であった。
介護保険・在宅領域における卒後教育セミナー	介護保険部	4	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年12月26日	中野サンプラザ 研修室10	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 2名 30名 27名	都士会HP 都士会ニュース 東京都作業療法士 協会HP 東京都言語聴覚士 会HP	高齢者の福祉の向上に資するため、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション関連職種をはじめ、理学療法士養成校の学生や一般都民の方に参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、経験豊富な三名の講師による講演とグループワークで構成される研修を受けることで、適切で効果的なサービス提供、高齢者福祉の向上への寄与を図った。
介護保険の基礎知識	介護保険部	4	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年1月27日	中野サンプラザ 研修室11	一般都民 理学療法士 うち都士会員	7名 7名 4名	都士会HP 都士会ニュース	高齢者の福祉の向上に資するため、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション関連職種をはじめ、理学療法士養成校の学生や一般都民の方に参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、経験豊富な二名の講師による講演とグループワークで構成される研修を受けることで、適切で効果的なサービス提供、高齢者福祉の向上への寄与を図った。
<b>(5) 障害者の支援を目的とする事業</b>											
福祉まつりリハビリ相談コーナー	成人福祉部	5	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成26年10月5日	福生市福祉セン ター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	11名 6名 6名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開 催日が記載されて いるものを配布	障害者の支援を目的として、福生市福祉センターで開催された福祉まつりへの参加事業でリハビリ相談会を開催した。当日は朝8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。9時30分より相談業務を開始し15時に終了、現状復帰後解散した。相談件数は男性4名、女性7名の系11名11件であった。年齢も50歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も自分自身のことから、親の介護のことまで多岐にわたった。また、相談員が6名いたこともあり、時間もゆっくりと取ることができて、相談者には満足して帰っていただいたように思えた。
健康まつりリハビリ相談・介護予防体験コーナー	成人福祉部	5	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成26年11月2日	福生市野球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	100名 19名 19名	社会福祉協議会の フライヤーおよび 市報 年間の相談会の開 催日が記載されて いるものを配布	障害者の支援を目的として、福生市野球場にて健康まつりが開催され、そのなかに東京都理学療法士協会協力事業として介護予防体験、リハビリ相談コーナーを設けた。8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。9時から介護予防体験とリハビリ相談を行った。介護予防体験は、東京都が作成したおたっしや21を元に、開眼片足立ち、嚙下、TUG、5m歩行速度、握力測定を行い介護度を説明した。さらに詳しい説明が必要な方には、相談コーナーへ誘導し、リハビリ相談を行った。参加者は100名、そのうちリハビリ相談へこられたのは4名であった。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
26年度 第13回キッズフェスタ (子どもの福祉機器展) 出展	小児福祉部	5	39 展示会 (○○ ショー)	自主 事業	主催 事業	平成26年4月19, 20日	流通センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	250名 50名 14名	都士会ニュース	障害者の支援を目的としてキッズフェスタに出展した。今年は昨年同様、主にご家族が子ども達に使われているアイディアグッズの情報を事前に集めてグッズ紹介や展示を行った。また、昨年大変好評でしたアイディアグッズ集は、よりご家族のニーズにお応えしたく、事前に「日常生活の困っている事」についてアンケートを実施した。124名のご家族から頂いた回答を踏まえて、アイディアグッズ集ver.2を作成し、希望者に配布した。 準備した200部はご家族・各施設で1部までとしながらも瞬間に無くなり大変好評だった。小児福祉部の活動に対する質問もあり、特に今後、情報公開予定の「東京都小児リハビリテーションマップ」に関する内容が多かった。また、他県の理学療法士協会小児福祉部の方から活動内容等について質問があり、貴重な情報交換の場ともなった。 東京都作業療法士会と合同で開催したセミナーも大変好評で100名近くの参加があった。 PTは高塩純一氏(びわこ学園医療福祉センター草津)を講師としてお招きした。
障がい児に関わる保護者・他職種向け講習会	小児福祉部	5	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月20日	島田療育センターはちおうじ	一般都民 理学療法士 うち都士会員	37名 8名 8名	都士会ニュース 各小児リハ実施施設へ案内郵送	障害者の支援を目的として、9月20日(土)島田療育センターはちおうじにて保護者向け講習会「重症心身障害児・者に対する身近なものでできる姿勢ケア」を開催致しました。 定員30名に対して50名の申込みがあり、施設毎に人数調整依頼し、37名参加となりました。 実技を取り入れながら身体が固くなる原因、支援方法について講義しました。 参加者からのアンケートでは、拘縮・変形の原因を踏まえた上で日常生活においてどのように支援していくべきか、発達を促していくか勉強になったというコメントを多く頂きました。
小児リハビリテーションマップの更新	小児福祉部	5	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業	平成26年11月15日	島田療育センターはちおうじ	理学療法士 うち都士会員	2名 2名	都士会HP 都士会ニュース	障害者の支援を目的として、平成26年4月に完成しました「東京都小児リハビリテーションマップ」を7月より当協会ホームページに掲載しました。 ホームページ掲載後は未掲載施設からの掲載希望があり、第2版作成に向けて検討いたしました。 第2版では小児リハを実施している全事業所を対象に調査する予定です。情報収集方法等に関して今後も継続して検討していきたいと思っております。
平成27年度 第14回キッズフェスタ (子どもの福祉機器展) 出展準備	小児福祉部	5	39 展示会 (○○ ショー)	自主 事業	主催 事業	平成26年9月3日、10月31日、11月28日、12月12日、12月20日 平成27年1月30日、2月7日、2月20日	東京都立小児総合医療センター 島田療育センターはちおうじ 他	理学療法士 うち都士会員	各日3名～13名		障害者の支援を目的として、平成27年4月18日、19日に開催される「第14回キッズフェスタ(子どもの福祉機器展)出展に向けて準備を行いました。 一昨年、昨年に作製した「アイディアグッズ集」に掲載したアイディアグッズの中から昨年実施した「日常生活で困っていることアンケート」の結果を参考に保護者ニーズにより応えられるようにグッズに選定及び理学療法士のコラムを加えた「保存版アイディアグッズ集」を作製しました。 また当日展示するグッズの作製及びセミナー内容の検討、資料作製も行いました。
東京都リハビリテーションマップの作成	外宣部	5	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業	平成26年4月1日～平成27年3月31日	社会医学技術学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	都士会HP 都士会ニュース	障害者の支援を目的として、東京都内の医療機関・福祉施設・在宅支援施設の情報を集約し、高齢者や障害者が地域の中でスムーズにリハビリテーションを受けられるよう行政機関やケアマネージャーなどに情報提供を目的にリハビリテーションマップを作成した。 約1000施設に対し、掲載承諾と情報提供を求め返信の集約作業を行う。 まとめた情報は、本会ホームページと冊子として情報開示する予定である。 定期的に情報を追加修正していく予定である。
障害者スポーツにおけるメディカルサポート活動	スポーツの理学療法委員会	5	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	年間	社会医学技術学院 都士会事務局	理学療法士 うち都士会員	8名 8名		障害者の支援を目的として、次年度以降、東京都内で開催される障害者スポーツ大会等、障害者スポーツ場面にメディカルサポートとして理学療法士を派遣し、参加者の怪我の予防・活動性の維持に貢献するために、関連団体の調査・情報収集および具体的なサポート活動の計画をたてた。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
機器開発助成	PT関連機器開発委員会	5	43 助成 (応募型)	自主 事業	主催 事業	平成26年5月19日 平成26年9月25日 平成26年9月25日～12月 20日	東京衛生学園 専門学校	理学療法士 うち都士会員		都士会HP 都士会ニュース	障害者の支援を目的として、障害者支援に関する情報収集及び公開、日常生活活動における援助方法などを実施する事業。具体的には、障害者支援のための機器アイデアの募集を9/25発行の東京都理学療法士協会発行のニュース及びホームページに掲載した。また、日本リハビリテーション工学協会の福祉機器コンテスト2014の周知依頼に対して、ホームページに掲載及び東京都内の養成校に資料を送付した(5/19)。9月25日から12月20日までの機器アイデア募集には2名より応募があった。うち1名に対し助成することが決定した。
国際福祉機器展(HCR)視察	PT関連機器開発委員会	5	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業	平成26年10月1日～3日 平成27年2月25日	東京ビックサイ ト	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	3名	都士会HP 都士会ニュース	障害者の支援を目的として、障害者の日常生活活動における援助方法などを検討する事業である。具体的には10月1日から3日の3日間、国際福祉機器展(来場者127,651人)を視察し、機器開発や改良の状況に関する情報収集を行った。視察内容は第2回理事役員会及び平成27年2月25日発行の東京都理学療法士協会発行のニュースにて行った。
(6) 教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資する事業											
施設見学会(理学療法士の仕事を 知ろう)	外宣部	6	34 体験 活動 等	自主 事業	主催 事業	平成26年8月11日～23日	各医療・福祉施 設	一般都民 その他医療従事者	13名 2名	都士会HP 都士会ニュース 案内ポスターを 作成し、都内高 校に配布 医療系進学予 備校へ資料送 送	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、理学療法士を目指している高校生を主の対象として職場見学会を開催した。希望者の学業の都合と見学受け入れ施設の日程を本会が調整し、理学療法士の役割などに関する基本的な資料は本会が作成し配布した。また、見学会終了後、施設側、見学者共にアンケート調査を行い、次年度に向けての課題の発見対応に活かした。
全国少年・中学軟式野球大会のメ ディカルサポート支援事業	スポーツの 理学療法 委員会	6	35 相談・ 助言	委託 事業	共催 事業	平成26年8月12日、13日	神宮球場・横浜 スタジアム	一般都民 理学療法士 うち都士会員	80名 2名 2名	過去に本委員会の サポート事業に 参加した都士 会員および、 サポート活 動調査に協力 のあった都 士会員にメ ールにて広 報	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、平成26年8月に東京都で開催される全国軟式野球大会準決勝・決勝におけるメディカルサポートに理学療法士を派遣して、球児の怪我の予防等に関与した。日本理学療法士協会から委託されて、共同で準決勝・決勝に関して都協会がサポートをした。
学校での体育活動のメディカルサ ポート活動	スポーツの 理学療法 委員会	6	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	年間	都内の中学校	一般都民 理学療法士 うち都士会員	30名 4名 4名		教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、都内の中学校等における部活などの体育活動時のメディカルサポートを行う理学療法士を定期的に派遣した。そのことにより怪我の予防を進めることで、生徒たちの健康維持・体力増進に寄与する。
(7) 理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究事業											
渉外局ホームページの運営、情報収 集	渉外局	7	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業	随時	玉川病院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	多数	第33回東京都理 学療法士学術 大会HP、ポ スター、 ニュース	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、都内在勤の理学療法士の現状把握法改定も含めた診療報酬・介護報酬等に関する情報収集を行った。都民からの問い合わせに対応する窓口を運営し、迅速に対応できる体制を整備するために、渉外局ホームページを作成し、維持、運営のためサーバーを管理した。さらに、サーバーを利用しアンケート調査を行い都内の理学療法の実態把握に努めた。また、関係団体などとの連携を強化することにより、関係各機関の対応、他国との交流を行い理学療法士の質の向上をはかり、広く都民の医療、保健、福祉、について相談や情報提供に貢献した。
診療報酬、介護報酬に関するアン ケート調査	医療報酬 部	7	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業	平成26年10月13日～11 月14日	杏林大学医学部 附属病院	理学療法士 うち都士会員	110名 110名	都士会HP 都士会ニュース FAX送信	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、東京都内において、医療保険で受けることができる理学療法の実施状況を把握するためにアンケート調査を実施した。いかなる時期においても誰もが理学療法を難なく受けられる社会づくりに活用するため、平成24年度に行ったアンケート結果との比較を第50回日本理学療法学会で結果を報告する。
ニュースにおける講座・セミナー・ 育成	広報部	7	33 講座、 セミナー、 育成	自主 事業	主催 事業	平成26年5月25日 平成26年7月25日 平成26年9月25日 平成26年12月25日 平成27年2月25日		一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	作成した刊行 物(ニュース)を 会員等に郵 送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、年間を通じて都内各地で開催される各種講座や研修会の開催案内および報告を本会発行刊行物(都士会ニュース等)に掲載し、広報活動に利用した。

事業名	部局	定款事業	チャリティポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
ニュースにおける体験活動 等	広報部	7	34 体験活動等	自主事業	主催事業	平成26年5月25日		一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	作成した刊行物 (ニュース)を 会員等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、年間を通じて都内各地で開催される体験活動の開催案内及び報告を本会発行刊行物(都士会ニュースなど)に掲載し、広報活動に利用した。
ニュースにおける相談・助言	広報部	7	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成26年5月25日 平成26年7月25日 平成26年9月25日 平成26年12月25日 平成27年2月25日		一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	作成した刊行物 (ニュース)を 会員等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、年間を通じて都内各地で開催される相談助言事業の開催案内及び報告を本会発行刊行物(都士会ニュースなど)に掲載し、広報活動に利用した。
ニュースにおける調査・資料収集	広報部	7	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成26年5月25日 平成26年7月25日 平成26年9月25日 平成26年12月25日 平成27年2月25日		一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	作成した刊行物 (ニュース)を 会員等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、年間を通じて本会が主催して行う調査資料収集事業に関する協力依頼及び報告を本会発行刊行物(都士会ニュースなど)に掲載し、広報活動に利用した。
ニュースにおける助成(応募型)	広報部	7	43 助成(応募型)	自主事業	主催事業	平成26年7月25日 平成26年9月25日 平成26年12月25日		一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	作成した刊行物 (ニュース)を 会員等に郵送	理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究のため、年間を通じて本会が主催して行う研究助成事業等に関する募集案内及び報告を本会発行刊行物(都士会ニュースなど)に掲載し、広報活動に利用した。
『理学療法東京』の編集と発行	機関誌編集部	7	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成26年5月13日、6月5日、7月23日、9月19日、10月9日、平成27年1月13日、2月24日	東京女子医科大学病院	理学療法士 うち都士会員	39名 28名	都士会ニュース	理学療法に関する刊行物を発行及び調査研究のため、理学療法に関する研究報告及び本会が主催した調査資料収集した報告を「理学療法東京」に掲載した。また、本刊行物は、広く配布するため医療・福祉関係団体及び都民には無償で提供するように努めている。
(8) 理学療法士の知識・技術向上のための研修会開催等に関する事業											
理学療法研究法講習会	学術局	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月5日 平成26年11月15日	首都大学東京荒川キャンパス 日本大学文理学部図書館棟3階 オーバルホール	理学療法士 うち都士会員	9名 9名	都士会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を開催した。 【講習会内容】テーマ：脳血管障害の理学療法とその研究手法 11月15日(土)に日本大学文理学部図書館棟3階オーバルホールにて、上記のテーマについて講師2名による講習会を行った。39名の参加があった。 学術局各部の平成26年度活動状況の報告と平成27年度事業活動に関する打ち合わせを行った。
呼吸器疾患の理学療法	都士会研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月26、27日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	14名 12名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、1.5日のプログラムで呼吸器の解剖・正常生理・病態生理から肺聴診・排痰技術の指導の実技まで一通りの呼吸器の理学療法知識・技術の研修を行った。特に、最終プログラムでは、各受講者の症例検討による討議が行われ、具体的な事例を通じた知識・技術の向上が図られた。講師は、「3学会(日本呼吸器学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士」も取得している慶應義塾大学医学部附属病院リハビリテーション部の深井和良先生に依頼した。公募方法は、理学療法士免許取得後5年目までの全国の免許取得理学療法士を対象に、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにて募集した。
股関節の機能解剖と運動療法	都士会研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年8月3日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	30名 21名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、1日のプログラムで最新の股関節の機能解剖知見に基づく運動療法技術の研修を行った。特に、最後の質疑応答では、具体的な臨床での事例に対する機能解剖に基づく回答がなされ、具体的な事例を通じた知識・技術の向上が図られた。講師は、岐阜県のさとう整形外科リハビリテーション科科長の赤羽根良和先生に依頼した。公募方法は、理学療法士免許取得後5年目までの全国の免許取得理学療法士を対象に、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにて募集した。

事業名	都局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
心疾患の理学療法	都士会 研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月13, 14日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	20名 12名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、1.5日 のプログラムで循環器（主に心臓）の解剖・正常生理・病態生理か ら血液データやX線所見の診かた、運動負荷試験による運動耐性ま で一通りの心疾患後の理学療法研修を行った。特に、最終プログラ ムでは、各受講者の症例検討による討議が行われ、具体的な事例を 通じた知識・技術の向上が図られた。講師は、日本理学療法士協会 における心疾患の理学療法で主導的立場である東京工科大学医療保 健学部理学療法学科の高橋哲也教授に依頼した。公募方法は、理学 療法士免許取得後5年目までの全国の免許取得理学療法士を対象に 日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理 学療法士協会ニュースにて募集した。
マイオチューニングアプローチの 理論と実際	都士会 研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月23日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	13名 8名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、日本マ イオチューニングアプローチ学会を主宰する帝京科学大学東京理学 療法学科の高田治実教授を講師として招聘し、マイオチューニング アプローチ(MTA)コンセプトによる痛みと運動機能障害に対する治 療的アプローチに関する講義及び実技の研修会を開催した。痛み は、理学療法の目的である障害者の社会復帰にとって非常にやっか い障害となる症状である。痛みに対する対処技術と知識を学ぶこ とは、理学療法士の知識・技術向上のため、ひいては患者や障害者 のQOLを高めるためにも必要である。内容は、補助講師動員により 参加理学療法士5名あたり1名のインストラクターで指導を行なうこ とができた。受講者を被検者としてMTAにより即効的に痛みや可動 域制限が変化するデモンストレーションが披露され、効果が可視 化、具体化され受講者には理解し易かった。全国の免許取得理学療 法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよ び東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
成人片麻痺の評価と治療	都士会 研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年1月24, 25日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	13名 11名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、脳卒中 後の片麻痺に対する評価と治療を理学療法士の中核性疾患に対する 治療法に関して、Bobath法を基に講義と実技研修を行なった。講師 は、関東甲信越地域では、有名な曾根政富（Basic Course Instructor、順天堂江東高齢者医療センター理学療法士）、大槻暁 （順天堂練馬病院理学療法士）、塚田直樹（順天堂東京江東高齢者 医療センター理学療法士）の3名の先生方に来ていただいた。発達 学的な治療であるため、臥位から寝返り、起き上がり、座位保持、 立ち上がり、立位保持、歩行とヒトの発達に沿った治療法を段階的 に指導された。コンセプトの変遷から最新の治療法の内容まで最新 の知見を取り入れた内容であった。全国の免許取得理学療法士を対 象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京 都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
徒手療法概説	受託研修 部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年7月12日～13日	法政大学 多摩キャンパス	理学療法士 うち都士会員	27名 3名	都士会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、患者を 治す治療技術である「徒手療法」の治療概念と、基本的治療技術 を学ぶ。当講習会の受講により、明日から使える技術を習得でき るよう実践的な内容とした。 講義内容：徒手療法の考え方、機能診断手順、軟部組織テクニッ ク、関節テクニック 脊椎疾患への徒手療法の実際 四肢関節疾患 への徒手療法の実際
平成26年度都士会研修会 運動器疾 患とPNF	受託研修 部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年5月25日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	36名 10名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、PNFの 定義やPNFの促通要素について講義し、その後、PNFの基本パターン について実技した。最終的には肩関節疾患や腰痛症を有する患者に 対する治療アプローチに関する実技の研修会を開催した。講師は日 本PNF学会理事長の柳澤健先生、今井基次先生、新井光男先生に依 頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協 会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象 として募集した。
理学療法士職域拡大セミナー（頭痛 の評価と治療）	受託研修 部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年7月6日	法政大学 多摩キャンパス	理学療法士 うち都士会員	43名 5名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、頭痛の 評価に基づいた治療的アプローチに関する講義及び実技の講習会を 開催した。講師は、安藤正志、中山彰博の2名の先生に依頼した。 公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよ び東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募 集した。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
痛み・麻痺・運動機能障害に対するマイオチューニングアプローチの理論と実践	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年7月12、13日	帝京科学大学 北千住キャン パス	理学療法士 うち都士会員	22名 9名	都士会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を開催した。 1. 様々な治療の基本となる筋触察の方法論について学ぶ 2. 筋触察を習得することにより理学療法治療学について見直す機会を提供する。 3. 痛み、麻痺、運動機能障害に対するマイオチューニングアプローチの応用的理論と技術の学習をする。 上記により質の高い理学療法士の育成に寄与することができた。
理学療法士講習会（応用編） 成人片麻痺の評価と治療	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	共催 事業	平成26年8月9～10日	順天堂東京江東 高齢者医療セン ター	理学療法士 うち都士会員	30名 12名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、脳卒中後の片麻痺に対する評価と治療をBobath概念に基づいた研修会を開催した。講師はIBITA(国際ボースインストラクター講師会議)より認定されているインストラクター、曾根政富(Basic Course Instructor、順天堂東京江東高齢者医療センター理学療法士)、塚田直樹(順天堂東京江東高齢者医療センター 理学療法士)、高村浩司(Basic Course Instructor、健康科学大学講師 理学療法士)、大槻暁(順天堂練馬病院 理学療法士)、福富利之(リハビリテーション花の舎病院 主任理学療法士)の5名の先生方に依頼して行った。理学療法の代表的な対象疾患である脳卒中片麻痺に対する基本的なアプローチ方法についてわかりやすく教示いただいた。
筋膜リリース～基礎から応用～	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	委託 事業	主催 事業	平成26年9月19～23日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	43名 11名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、5日間のプログラムで筋膜リリースの評価に基づく基礎から応用までの治療的アプローチに関する講義及び実技を講習した。
平成26年度都士会研修会 モビライゼーションPNF手技ーEBMに基づいた新たな戦略（関節可動域の改善、腰痛症）	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月28日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法実習室	理学療法士 うち都士会員	27名 9名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、モビライゼーションPNF手技を用い、最新のEBMに基づいた関節可動域改善や腰痛症に関する講義及び実技の研修会を開催した。講師は動的モビライゼーション療法学会理事長の新井光男先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
理学療法士講習会（応用編） 上肢・下肢の触診機能解剖	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年11月1～3日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	45名 11名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、3日間のプログラムで上肢と下肢の触診と機能解剖に関する講義および実技を開催した。講師は竹井仁、古川順光、来間弘展、宇佐英幸、小川大輔の5名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
第10423回理学療法士講習会『脳性麻痺児の評価と治療』	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	共催 事業	平成26年11月7日～9日	順天堂大学医学 部附属順天堂医 院	理学療法士 うち都士会員	30名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、3日間のプログラムでボース概念に基づく評価をもとに脳性麻痺児に対する治療的アプローチに関する講義及び実技の講習会を開催した。講師は、北原エリ子、丸森睦美の2名に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HP及び東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
理学療法士職域拡大セミナー（顎関節障害の評価と治療）	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年11月16日	法政大学 多摩キャンパス	理学療法士 うち都士会員	35名 6名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、顎関節障害の評価に基づいた治療的アプローチに関する講義及び実技の講習会を開催した。講師は、安藤正志、秋山純和の2名の先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
平成26年度都士会研修会 モビライゼーションPNF手技を用いた脳卒中後片麻痺患者のEBMに基づいた新たな治療法	受託研修部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年12月14日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	31名 13名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、モビライゼーションPNF手技を用い、最新のEBMに基づいた脳卒中後片麻痺患者に対する関節可動域改善法や筋力増強法に関する講義及び実技の研修会を開催した。講師は動的モビライゼーション療法学会理事長の新井光男先生、榊本一枝先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。



事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
新人教育プログラム第1回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年8月3日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	199名 176名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。実施内容は以下の通りであった。 A必須初期研修 A-1 理学療法と倫理 A-2 協会組織と生涯学習システム A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む） A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む） A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）
新人教育プログラム第2回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月6日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	312名 304名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。実施内容は以下の通りであった。 B理学療法の基礎：B-1 一次救命処置と基本処置 D理学療法の専門性：D-3 理学療法の研究方法論（EBPT 含む） E理学療法における人材の育成：E-3 国際社会と理学療法
新人教育プログラム第3回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年11月30日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	261名 211名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。実施内容は以下の通りであった。 A必須初期研修 A-1 理学療法と倫理 A-2 協会組織と生涯学習システム A-3 リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む） A-4 人間関係および接遇（労働衛生含む） A-5 理学療法における関連法規（労働法含む）
新人教育プログラム第4回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年2月14日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	256名 230名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。実施内容は以下の通りであった。 B理学療法の基礎：B-3 統計方法論 B理学療法の基礎：B-2 クリニカルーゼンク D理学療法の専門性：D-2 生涯学習と理療法の専門領域
教材資料貸出	教材資料部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日		理学療法士 うち都士会員	63名 59名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識や技術向上を目的として、都士会所有の教材の貸出を行った。 また、新規教材作成にあたり、都士会主催の「理学療法研究法講習会」、治療技術研修会「股関節の機能解剖と運動療法」を撮影し、DVDの作製を行った。
英語論文紹介	教材資料部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日				都士会HP	理学療法士の知識や技術向上を目的として、英語論文（以下6論文）を日本語要約し、解説とともに紹介を行った。 「Relationship between asymmetry of quiet standing balance control and walking post-stroke」 「Biomechanical Measures During Landing and Postural Stability Predict Second Anterior Cruciate Ligament Injury After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction and Return to Sport」 「Can we unmask features of spasticity during gait in children with cerebral palsy by increasing their walking velocity?」 「Superior Cardiovascular Effect of Aerobic Interval training versus moderate continuous training in heart failure patients: a randomized study.」 「The Effects of Somatosensory Training Focused on the Hand on Hand Function, Postural Control and ADL of Stroke Patients with Unilateral Spatial Neglect and Sensorimotor Deficits」 「Early Neuromuscular Electrical Stimulation to Improve Quadriceps Muscle Strength After Total Knee Arthroplasty: A Randomized Controlled Trial」

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
診療報酬に関する講習会	医療報酬部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年6月26日	東京都医科歯科 大学医学部附属 病院	理学療法士 うち都士会員	41名 41名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を開催した。理学療法士を対象に、リハビリテーション等に関連した診療報酬についての専門的知識の向上を図った。
平成26年度 第1回 区中央部・区南部・島しょブロック研修会	業務推進部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年7月19日	東京衛生学園 専門学校	理学療法士 うち都士会員	36名 24名	都士会HP 都士会ニュース はがき発送	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的に、診療報酬についての研修会を実施した。 平成26年度は診療報酬が改定された年度であり、改定が行われる度に各施設に対応が迫られる医療業界において、各施設のリハビリテーション従事者の業務にどのような影響があり、各施設はどのような対策を行ったのか、各施設から報告を行い、今後の対応についての対策をシンポジウム形式で話し合った。 はじめに平成26年度の診療報酬改定に至る理学療法士の関わりや診療報酬の変更点・今後の展望について、講師の友清直樹先生に講演して頂き、診療報酬改定内容と改定までに理学療法士がどのように関わったかの知見を広げた。 その後、急性病院からは荏原病院の菊池謙一先生による地域包括ケア病棟の移行について、回復期病院からは蒲田リハビリテーション病院の田中重成先生による回復期病床の今後の取り組みについて、クリニックからは山王リハビリ・クリニックの本間格先生による在宅医療連携についてそれぞれ知見を広げた。 シンポジウムにおいては、参加者の疑問や今後の運営方針について話し合うことができ、地域におけるリハビリテーションの役割や今後の改定に向けてどのような取り組みを行っていくのかを討論できた有意義な研修会となった。
平成26年度 区中央部・区南部・島しょブロック学術集会	業務推進部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年11月8日	東京医科歯科大学	一般都民 理学療法士 うち都士会員	9名 39名 38名	都士会HP 都士会ニュース 封筒発送	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的に、「がんリハビリテーション」についての研修会を実施した。 近年「がんリハビリテーション」が注目され、理学療法士もがんに対するより深い見識が求められている。そこで今学会ではテーマを「がんリハビリテーション」とし、特別講演に千葉県立保健大学の安部能成先生をお招きした。 講演では今日に至るまでの「がんリハビリテーションの流れ」から治療において選択的に行動するためには、具体的にどのような知識が必要であるかなど、幅広い範囲で講演した。参加者からも活発な質問があり、「がんリハビリテーション」における理解が深まった有意義な学会であった。
平成26年度 第2回 区中央部・区南部・島しょブロック研修会	業務推進部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年3月15日	専門学校 東京 医療学院	理学療法士 うち都士会員	38名 36名	都士会HP 都士会ニュース はがき発送	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的に、歩行の運動学習についての研修会を実施した。 移動手段として、歩行は重要な要素を占めており、障がいを持つ方への指導は様々な知見から議論がなされている。そこで今回は、鶴埜益己先生を講師にお招きし、「脳血管障害片麻痺患者の歩行の運動学習～認知神経リハによるアプローチ～」というテーマで講演して頂いた。 講演は、認知神経リハビリテーションの歴史から神経生理学、運動学、哲学といった多岐にわたる学問から歩行障がいをどのように捉えていくかといった内容で行われた。 歩行を捉える上で必要な知識を深めることのできた有意義な会となった。
区西南部・区西部ブロック研修会 「スポーツに対する知識、技術の講習会」	業務推進部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年6月21日	慶應義塾大学 信濃町キャン パス	一般都民 理学療法士 うち都士会員	11名 65名 54名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、スポーツに対する知識、技術の講習会を開催した。スポーツ選手、一般スポーツ、障害者スポーツを行っている都民に対して、効率を高めるため怪我の予防、救急対応、コーチングなど理学療法士が支援できる内容は多くあるが、都民や理学療法士の認識はまだ十分とは言えない状況がある。これらに対して6月21日に慶應義塾大学信濃町キャンパスで「スポーツにおける救急対応について」を学んだ。また、我々都民に貢献する理学療法士が業務としてではなく、自由時間を利用してさまざまなアマチュアスポーツに貢献している「地域スポーツへの理学療法士の関わり」に対して報告を行った。

事業名	部局	定款事業	チャットポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
区西南部・区西部ブロック研修会「スポーツに対する知識、技術の講習会」2	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年2月21日	JCHO東京新宿メディカルセンター	理学療法士 うち都士会員	60名 54名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、スポーツに対する知識、技術の講習会を開催する。スポーツ選手、一般スポーツ、障害者スポーツを行っている都民に対して、効率を高めるため怪我の予防、救急対応、コーチングなど理学療法士が支援できる内容は多くあるが、都民や理学療法士の認識はまだ十分とは言えない状況がある。これらに対して研鑽を積むために研修会を開く。我々理学療法士が都民に貢献するにはアマチュアスポーツとの関わりは非常に重要となり「成長期のスポーツ障害」を学んだ。各スポーツ治療の知識のみではなく技術を学ぶために実技講習もおこなった。
区西北ブロック研修会①「症例検討のやり方について」	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月16日	北とびあ	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	13名 10名 83名 82名	都士会HP 都士会ニュース ポスター作成	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を実施した。「次なる臨床ステージへ はじめよう！ 症例検討のススメ」をテーマとして、若手スタッフの教育・研究支援の一助となるよう、事例検討から臨床研究までの工夫やヒントを中村 睦美先生（赤羽中央総合病院 理学療法士）、布施 陽子先生（文京学院大学 理学療法学科教員）を講師に招いて講義を行った。臨床研究を通じて都民への医療・保健・福祉の増進に寄与するものと考えている。また、今後の当ブロックの取り組みとして、平成25年2月開催の学術集会に向けた研究支援を希望者に対して行っていくことを御提案・PRした。
区西北ブロック研修会②「地域連携・地域包括ケアシステムにおいて私たちが果たす役割」	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月12日	coconeriホール	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	3名 89名 88名	都士会HP 都士会ニュース ポスター作成	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を実施した。「地域包括ケアシステムにおいて私たちが果たす役割と課題」と題し、友清直樹先生（山王リハビリ・クリニック）を講師に迎え、地域包括ケアシステムへの我々の具体的な関わり方を検討した。
西多摩南多摩ブロック研修会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年12月9日	八王子学園都市センター イベントホール	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	9名 68名 67名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、八王子学園都市センター イベントホール（JR中央線 八王子駅 徒歩3分）を会場に、「精神疾患を既往にもつ運動器疾患に対する理学療法」をテーマに上菌紗映（平川病院 理学療法士）を講師に迎えて研修会を開催した。当日は、理学療法士だけでなく、作業療法士、看護師の他の医療従事者の参加もあり、77名と多くの人に参加していただき、精神疾患を既往にもつ方のリハビリテーションの関心の高さが伺えました。講演後も活発な質疑応答が行われ、日々の実践と理学所見評価の重要性がわかるとも貴重な機会となりました。
平成26年度 北多摩ブロック新人セミナー	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月12日	専門学校社会医学技術学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	12名 1名 68名 66名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、講義とシンポジウムを行った。内容は以下の通りである。  ・講義「新人セラピストのためのバイオメカニクス」 講師：鹿嶋 藍 氏（社会医学技術学院） 司会：矢島 亜弓 氏（関東リハビリテーション専門学校） ・シンポジウム「連携を深めるための相互理解」 施設からの業務内容等の紹介（急性期～訪問まで） 司会：柳堀 明久 氏（小金井太陽病院） 急性期施設：中野 壮一郎 氏（府中恵仁会病院） 回復期施設：島崎 重和 氏（小平中央リハビリテーション病院） 介護老人保健施設：岡田 昇 氏（介護老人保健施設 けやきの郷） 訪問リハビリテーション：遊佐 真弓 氏（新田クリニック）  シンポジウムでは、各リハビリテーション分野でそれぞれ活躍されている理学療法士の業務や役割について講演をいただき、参加者と講師とで活発な意見交換が行われた。

事業名	部局	定款事業	チャックポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
北多摩ブロック研修会「他職種連携セミナー」	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年10月18日	関東リハビリテーション専門学校	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	4名 12名 19名 19名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、在宅リハビリに必要な認知症・パーキンソニズムの基礎知識と、在宅支援における多職種連携の重要性を再考する研修会を開催した。内容は以下の通りである。  ・講演①：在宅リハに必要な認知症・パーキンソニズムの基礎知識～軽度認知症を伴う歩行不安定な人についての対処法～ 講師：佐藤 猛氏（菜の花クリニック 神経内科医 精神・神経科学振興財団理事） ・講演②：在宅パーキンソン病患者への支援について～立川市パーキンソン病友の会・準備会での取り組み～ 講師：水村 安代氏（立川市北部中さいわい地域包括支援センター 看護師）  なお、講演後には「在宅パーキンソン病患者の多職種連携」についてグループワークを行い、様々な職種の立場から活発に意見を交換しあった。
北多摩ブロック研修会「吸引研修会」	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年11月4日、11日	専門学校社会医学技術学院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	4名 43名 42名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のため、吸引研修会（1日目：講義、2日目：実技）を開催した。地域で働く理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が気管吸引に必要な知識と技術講習を実施した。内容は以下の通りであった。  ・講義①：当院におけるリハスタッフの喀痰等の吸引～病院内でコンセンサスを得るために～ 講師：国立精神・神経医療研究センター 寄本 恵輔 氏 ・講義②：喀痰吸引の基礎 講師：リハビリ企画合同会社 南雲 健吾 氏 ・吸引実技
第5回 北多摩ブロック学術集会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年2月15日	国立精神・神経医療研究センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	10名 10名 133名 126名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のため、特別講演を含む学術集会を行った。参加者は他職種・一般都民を含む153名であった。特別講演として、「地域に根差した理学療法士になる為に」をテーマに日本理学療法士協会会長 半田一登氏に講演をいただいた。一般演題は43題であり、活発な討議が行われた。
地域包括ケアシステム推進のための活動	保健福祉局	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月13日、8月14日、9月27日、10月5日、11月16日 平成27年2月5日、2月8日、2月22日	デンマークイン新宿、グリーンボイス、東京医科歯科大学病院、社会医学技術学院、日本リハビリテーション専門学校、河北医療財団 講堂	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	12名 7名 518名 469名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、地域包括ケアシステムの啓蒙や推進リーダー制度の導入研修を開催した。地域包括ケアシステムの啓蒙では、「地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割」というテーマで地域包括ケアシステム模擬会議に出席された先生や行政に勤務された先生に講師になっていただき研修会を開催した。また、「地域包括ケアシステムと在宅支援」というテーマでリハビリ職に求められるもの、多職種連携を重点に置き研修会を開催した。講師として地域で勤務されている理学療法士の他に、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、訪問介護スタッフの方をお招きし研修会を開催した。推進リーダー制度の導入研修では、地域包括ケア推進リーダー導入研修、介護予防推進リーダー導入研修ともに各2回の研修会を開催した。地域包括ケア推進リーダー導入研修では、地域包括ケアシステムが求められている背景や現状、地域ケア会議の必要性と目的、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を講義した。介護予防推進リーダーでは、介護予防事業に関連する行政・関連団体と福祉計画について、介護予防事業の目的や効果、展開方法を講義した。実際に介護予防事業を行っている先生に講師になっていただき、具体的な取り組みなどを紹介してもらった。また実際に福祉事業計画をもとに理学療法士がどのように関わられるのかなどのグループワークを行い、実践能力の習得と貴重な情報交換の場であった。

事業名	都局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
小児理学療法セミナーの開催	小児福祉部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年10月11日	東京工科大学	一般都民 理学療法士 うち都士会員	3名 44名 16名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、東京都内の小児施設勤務の理学療法士を対象にセミナーを開催した。知識技術の向上を図り、東京都在住の障がい児者に対してより質の高いサービスを提供する目的で実施しました。10月11日(土)に東京工科大学蒲田キャンパスにて第1回東京都小児理学療法セミナーを開催しました。テーマは「脳性まひを持つ子どもたちへの理学療法の展望 ～過去・現在、そして未来へ～」とし、理学療法士の奥田憲一氏(社会福祉法人慈愛会医療福祉センター聖ヨゼフ園)を講師としてお招きしました。当日は46名の参加があり、私たちが取り組んでいる脳性まひの子ども達への理学療法についてどのような歴史的変遷があり、理論的枠組みを再確認した上で、今後の展望について講義がありました。アンケートでは小児分野の講習会やセミナーの開催が少ない中で貴重な機会となった。普段はなかなか聞くことのできない内容で大変勉強になった。など挙がり、今後の継続開催の要望も多くありました。来年度以降も引き続き開催していきたいと思っております。
介護保険・在宅領域における卒後教育セミナー	介護保険部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年12月26日	中野サンプラザ 研修室10	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	2名 2名 30名 27名	都士会HP 都士会ニュース 東京都作業療法士 協会HP 東京都言語聴覚士 会HP	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士などのリハビリテーション関連職種をはじめ、理学療法士養成校の学生や一般都民の方に参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、経験豊富な三名の講師による講演とグループワークで構成される研修を受けることで、理学療法士の知識・技術の向上を図った。
介護保険の基礎知識	介護保険部	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年1月27日	中野サンプラザ 研修室11	一般都民 理学療法士 うち都士会員	7名 7名 4名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士などのリハビリテーション関連職種をはじめ、理学療法士養成校の学生や一般都民の方に参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、経験豊富な二名の講師による講演とグループワークで構成される研修を受けることで、理学療法士の知識・技術の向上を図った。
災害コーディネーター育成研修会	災害対策委員会	8	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年1月23日	首都医校 総合 校舎コクーンタ ワー	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	9名 70名 52名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、東日本大震災のような災害時における理学療法・介護従事者の役割を把握し、今後発災時に東京都民や被災者に迅速に対応すべく、災害リハビリコーディネーター育成研修会を開催した。今回導入研修として東日本大震災にてコーディネーターとして活躍された理学療法士の後藤博音先生をお招きし、震災当時の活動内容や震災地域の現状についてご講演頂いた。
第3回災害対策研修会	災害対策委員会	8	33 講座、セ ミナー、育 成	委託 事業	主催 事業	平成27年2月21日	東京総合保健福 祉センター 江 古田の森	理学療法士 うち都士会員	29名 28名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、平成27年2月21日(土)、中野区江古田にある東京総合保健福祉センター江古田の森にて、第3回災害対策研修会～Basic Life Support研修会～を開催した。今回は講師に一般財団法人 日本救急医療教育機構の櫻井雅浩先生を始め、9名のインストラクターをお招きして研修会を開催した。参加総数PT29名(1名当日欠席)にご参加いただいた。今回の研修会では、災害時など一次救命が必要な場面に遭遇した時の対応の方法や、成人のみならず小児・乳児の心肺甦生や補助呼吸、異物除去などを教えて頂いた。実技・筆記試験には参加者全員が合格し、BLSヘルスケアプロバイダーの資格を習得することが出来た。今後、災害発足時はもちろん、通常の業務でも今回の講習で習得した知識とスキルを活かし、すべての年齢層の負傷者へ対応方法を行っていきたい。
スポーツにおける理学療法士のメディカルサポート活動に関する調査・資料収集	スポーツの 理学療法 委員会	8	36 調査・ 資料収 集	自主 事業	主催 事業	年間		理学療法士 うち都士会員	30名 30名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を開催するため、スポーツ場面における理学療法士の活動に関する幅広い調査・資料収集を実施した。より効果的なサポート活動を行うための基礎的情報とした。

事業名	都局	定款事業	チャットポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
包括医療制度についてのランチョンセミナー	公開講座準備委員会	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年5月9日	東京医科歯科大学	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	8名 20名 20名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を開催した。日本理学療法士協会会長、半田一登先生をお招きし、2025年に施行される包括医療制度についての概要をお話いただいた。
<b>(9) 理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業</b>											
他団体との交流、協力に関する事業	渉外局	9	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成26年5月27日 平成26年9月21日 平成26年12月5日	東京都障害者スポーツセンターなど	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日30名 各日3名 各日2名	都士会HP 都士会ニュース FAX	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、医療・保健・福祉関係団体や障害者団体（障害者スポーツ団体）と連携協力することにより、他団体が主催する事業への支援を行う。他団体と連携・協力した団体が主催する各種イベントに関連する公益事業については募集、紹介、認定などの支援を行った。
介護保険施設における理学療法士の現状把握に関する事業	介護報酬部	9	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	随時	都士会HP	一般都民	多数	都士会HP	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、都民に対する介護報酬の情報提供を主目的に、自治体等より情報収集を行い、ホームページ等により情報提供を行い、都民の介護報酬に関する理解の向上等を図った。
ナースフェスタ 2014	外宣部	9	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成26年5月17日	新宿西口広場	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	計約1200名	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の社会的地位向上と相互福祉に資するため、東京都看護協会が主催する「ナースフェスタ」にて都民を対象とした健康相談事業を実施した。具体的な相談内容としては、医療保険や介護保険などの具体的な理学療法施行場面や内容に関する相談に対応した。また、身体機能面の悩みや相談、家族の状況に対する運動療法・理学療法に関する相談にも対応した。
規約審議	規約審議委員会	9	35 相談・助言	自主事業		平成26年10月7日、10月28日、11月18日、12月16日 平成27年1月20日、2月24日	東京衛生学園専門学校	理学療法士 うち都士会員	5名 5名		理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、都民を対象として本会に公益事業として求める内容について聴取する機会を設けた。合わせて、都民から理学療法に関する相談も受け付けた。都民からは、健康寿命を延ばすため地域事業でもっと理学療法士に関与して欲しい等の要望が多かった。
都民の声委員会	都民の声委員会	9	35 相談・助言	自主事業		平成26年8月5日、11月11日 平成27年2月3日、3月3日	東京衛生学園専門学校	理学療法士 うち都士会員	10名 10名		理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、下記の事業を実施した。 (1) 都民からの理学療法に関する問い合わせ等に関する対応 問い合わせ内容（まとめ） ・特定の疾患・症状に対して、どのような理学療法があるのかについての問い合わせ ・病院・施設で受けた理学療法内容についての不満 ・退院後に受けられる理学療法についての問い合わせ (2) (1)の内容についての共有 ・会議にて各事例報告を通して委員会内で共有 ・対応方法についてのポイントおよび注意事項についての共有
倫理規程・厳守に関する東京都理学療法士協会会員への倫理的教育及び情報の周知	倫理委員会	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業		首都大学東京	都士会員	6000名程度	都士会ニュース	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、理学療法士の倫理厳守の意識を高めることを目的として「倫理規定」に関する啓発活動を実施した。具体的には、本会主催の学会及び講習会などにおいて、理学療法士の「倫理規定の重要性」「行動規範」について学会に参加した理学療法士及び都民の皆様にも周知するとともに、本会発行のニュース内に倫理厳守を啓発する内容を掲載した。
地位向上委員会 講演会・会議	理学療法地位向上委員会	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年1月14日 平成27年2月12日 平成27年3月23日	都士会事務局 参議院会館	理学療法士 うち都士会員	計122名		理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、地位向上委員会として理学療法士の地位向上に関しての講演会・会議等を開催した。
<b>(10) 先進的な理学療法の確立に資する事業</b>											
呼吸器疾患の理学療法	都士会研修部	10	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成26年7月26.27日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	14名 12名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協会HP	先進的な理学療法の確立に資するための研修会を行った。理学療法士の気管吸引が認められたこともあり、理学療法士には呼吸器の解剖・病態生理から肺聴診・排痰技術の指導が求められる。講師は、「3学会（日本呼吸器科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会）合同呼吸療法認定士」も取得している慶應義塾大学医学部附属病院リハビリテーション部の深井和良先生に依頼した。公募方法は、理学療法士免許取得後5年目までの全国の免許取得理学療法士を対象に、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにて募集した。

事業名	部局	定数 事業	チャット ポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
股関節の機能解剖と運動療法	都士会 研修部	10	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年8月3日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	30名 21名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	先進的な理学療法の確立に資するための研修会を行った。理学療法士の対象疾患として大腿骨頸部骨折は、非常に多い。また、この疾患のため寝たきりになる高齢者も多い。このため、理学療法士には股関節に関わる最新の機能解剖及び病態生理に基づく知識・技術の指導が求められる。講師は、理学療法士養成校卒業後から機能解剖を習得している岐阜県のさとう整形外科リハビリテーション科科長の赤羽根良和先生に依頼した。公募方法は、理学療法士免許取得後5年目までの全国の免許取得理学療法士を対象に、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにて募集した。
心疾患の理学療法	都士会 研修部	10	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月13、14日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	20名 12名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	先進的な理学療法の確立に資するための研修会を行った。本研修会の講師である東京工科大学医療保健学部理学療法学科の高橋哲也教授は、内部障害系理学療法の分野では、国内外の学会で研究発表を行っておられるその道の第一人者である。毎年、研修会の講師をお願いしているが、年々最新の研究データをわかりやすく、かつ臨床に活用できるように教授されている。これは、心疾患の理学療法としては、先進的な研修会であって最新の知見を得ることができるものである。公募方法は、理学療法士免許取得後5年目までの全国の免許取得理学療法士を対象に、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにて募集した。
マイオチューニングアプローチの理論と実際	都士会 研修部	10	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年9月23日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	13名 8名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	先進的な理学療法確法の確立に資するための研修会を行った。MTAは、筋肉の徒手的な操作により、痛みや運動障害を改善する治療法である。その理論と技術は、毎年進化している。今回の主講師である日本マイオチューニングアプローチ学会を主宰する帝京科学大学東京理学療法学科の高田治実教授は、この分野では第一人者である。筋肉の触診から抑制点の探し方など具体的に症例を通したわかりやすい説明であった。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
成人片麻痺の評価と治療	都士会 研修部	10	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年1月24、25日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	13名 11名	都士会HP 都士会ニュース 日本理学療法士協 会HP	先進的な理学療法の確立に資するため、脳卒中後の片麻痺に対する評価と治療を理学療法士の中核性疾患に対する治療法として有力なBobath法を基に講義と実技研修を行なった。Bobath法自体は、1960年代から70年代に開発された理学療法分野では比較的古い治療法であるが、この治療法は年々新たな治療技術を取り入れて常に最新のコンセプトを構築している。したがって、毎年その治療技術、知識は進歩している。講師は、関東甲信越地域では、有名な曾根政富（Basic Course Instructor、順天堂江東高齢者医療センター理学療法士）、順天堂大学医学部附属順天堂医院理学療法士、大槻暁（順天堂練馬病院理学療法士）、塚田直樹（順天堂東京江東高齢者医療センター理学療法士）の3名の先生方に来ていただいた。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
韓国ソウル市理学療法士協会より講師招聘の講習会	渉外局	10	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成26年7月6日	首都大学東京	一般都民 理学療法士 うち都士会員	多数	第33回東京都理学療法士学術大会 HP、ポスター、 ニュース	先進的な理学療法の確立に資するための講習会を開催した。公開講座、研修会などの目的は、理学療法の普及や専門知識の向上により一般都民の健康と福祉の増進ならびに障害と疾病の予防や理学療法の発展に寄与することである。 国際貢献・国際交流を行うことは、都内在勤理学療法士の自己啓発や質の向上をはかることが期待でき、それらにより都民への医療、保健、福祉の向上に貢献することが期待できる。友好関係にある韓国ソウル市理学療法士協会との学術的な交流を深めることにより都内在勤理学療法士への啓発活動を期待し、当会主催の学術集会やソウル市理学療法士協会主催の学術集会に相互的に理学療法士を派遣・招待等にて参加することにより、都内在勤理学療法士の質の向上をはかり、都民への医療、保健、福祉の向上に貢献する。今年韓国と日本の相違点を述べ、議論を行った。韓国では特殊療法の資格を取得することで診療報酬単価に加算されることがわかった。日本では専門理学療法取得によりリハ協議会で人事考課に影響を与えるようになったが、今後韓国のような制度も視野に入れ考える。都民、都内在住理学療法士にとって良い機会となった。

事業名	部局	定款事業	チャットポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
韓国、ソウル市の理学療法に関する調査	渉外局	10	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成26年7月6日	ソウル市サムソン病院	理学療法士 うち都士会員	9名 9名	第33回東京都理学療法士学術大会 HP、事業報告1	先進的な理学療法の確立に資するため、他国での学会に参加、発表した。先進的な知識技術を知り、理学療法の普及や専門知識の向上により一般都民の健康と福祉の増進ならびに障害と疾病の予防や理学療法の発展に寄与することできた。 国際貢献・国際交流を行うことは、都内在勤理学療法士の自己啓発や質の向上をはかることが期待でき、それらにより都民への医療、保健、福祉の向上に貢献することが期待できる。友好関係にある韓国ソウル市理学療法士協会の視察、参加発表を行い、先進的な理学療法の交流を図る。また、ソウル市にあるボバース記念病院を視察し、世界的な視野でのリハビリテーションを視察し、東京の発展を促すとともに、都内在勤理学療法士への啓蒙をはかり質の向上、都民への医療、保健、福祉の向上に貢献した。
(11) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業											
選挙管理委員会	選挙管理委員会	11	58 公益性が無いその他の事業	自主事業	共催事業	平成27年1月1日～3月31日	東京大学・都士会事務局	都士会員		都士会HP 都士会ニュース	平成27年度～28年度の理事選出のため、下記の事業を行った。 Web選挙についての資料を集め、選挙要綱など文書の整理他の打ち合わせを行った。 Web選挙委託業者との打ち合わせ、並びにデータベースの構築。業者の同席に加え、選挙管理委員およびweb選挙の事務作業の手伝いをお願いした方に同席いただいた。 Web選挙システムフォーマットの作成。 役員選挙立候補意思表示した方々への説明文作成。



事業名	部局	定款事業	チャリティーイベント		期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
-----	----	------	------------	--	----	----	-----	------	------	----